

わたし×働くの これからをデザインする **3** DAYS vol.2

新しい
生き方、働き方の
ヒントが見つかる
～二極化時代の新提言

野村 浩子 さん

ジャーナリスト・淑徳大学教授
元「日経WOMAN」編集長



1962年生まれ。84年お茶の水女子大学文教育学部卒業。就職情報会社ユー・ピー・ユーを経て、88年、日経ホーム出版社発行のビジネスマン向け月刊誌「日経アントロポス」の創刊チームに加わる。「日経WOMAN」編集長、日本初の女性リーダー向け雑誌「日経EW」編集長、日本経済新聞社・編集委員などを経て、2014年4月より現職。日経WOMAN時代には、その年に最も活躍した女性を表彰するウーマン・オブ・ザ・イヤーを立ち上げる。著書に「女性に伝えたい 未来が変わる働き方」（KADOKAWA刊）、「定年が見えてきた女性たちへ」（WAVE出版）、「働く女性の24時間」（日本経済新聞社刊）

公開講座

平成30年度 鹿児島県キャリアデザインセミナー「わたし×働くのこれからをデザインする3DAYS」の1日目は、女性の働く環境がどのような変遷をたどってきたか…。これから私たち女性が、希望する働き方をかなえるための課題は何なのか…。5000人以上の働く女性取材してこられた野村浩子さんをお迎えし広く皆さまにご参加頂ける公開講座として開催します！

1.27 (日)
14:00-16:00
マルヤガーデンズ
5階アートギャラリー

◎ 問合せ先 ◎ 鹿児島県男女共同参画センター
TEL 099-221-6603 FAX 099-221-6640
E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

定員 **100** 参加 **無料** 託児 **有**

わたし×働くの これからをデザインする3 DAYS vol.2

いろんな立場を生きる女性の
“働く”にまつわるつづやき

育休明けで復帰して、今、時短で働いて2年目です。同期は出張行ったり、バリバリキャリアを積んでいます…。子育て時短勤務を望んだのは私だけ…。行ける出張、できる残業あたりです。私にも機会を与えて欲しいなあって思っています…。こんな事を思うのはなぜいたかのでしょうか？

困境ジョブの私は、非正規雇用で働いてはじめてから、今ずっと非正規です。多分、一生働かなければ生活が厳しくなると思いますが、いつまで働けるのか…。親の介護、自身の健康…。いろんな不安がります。

ずっと専業主婦でした。子どもが大きくなったので、そろそろ働き始めたいとは思っていますが、経験がないので自信をもちません。

私はパートですが、夫婦共働きです。家事・育児のほとんどは私がやっています。子どもが風邪をひいて、休まないといけない日に私には大事な仕事があったので、夫に「今日休んでもらえない？」と頼んだら「無理、君はパートだから誰でもできる仕事だから仕事を替わってもらうよ」と言われて…。ショックでした。

昨年、昇進しました。同窓会で名刺交換した時に、私の役職をたんに「女性活躍が昇進したわけか」と可だかどと羨ましい感じで言った同級生がいて…。久しぶりに会って、私がどんな仕事をしているのか可も知らないのに、悔しかったり、悲しかったり…。私がこんな気持ちになったのは、社内でもそんな噂が聞こえてくるから…。でも、私は、本当に仕事が好きでこまできたので、昇進は私への評価と期待だと思っていますが、やはり、うぶな女性というだけで正當に評価されないのが悔しいです。

開講に寄せた想い…

この社会の中で、私たち女性は、ライフステージの様々な段階で経験する可能性のある“結婚”“出産”“育児”“介護”等のライフイベントによって、働き方をどうするか…という選択を迫られることが多い“女性”という“性”を生きています。

それぞれが望む“わたし”と、現在の“働く”状況の間には隔たりがあり、いろんな立場を生きる女性たちが、それぞれに、仕事や生活について、先の見えない将来に漠然とした不安を抱えています。

漠然とした不安の正体は何なのか…。

あらためてわたし×働くについて考えて、一人ひとりが望む、それぞれの幸せの実現のための希望をつかめたらという想いを込めて、このセミナーを開講します！

実施団体：ピア・スタディング

対象

Day 1

どなたでも

Day 2,3

自分の“これから”を“働く”という
ことを切り口に考えてみたい女性

定員

Day 1

100

Day 2,3

30

託児

有り
無料

1/13 (日) 申込み締切
6ヶ月～小学2年生まで

駐車無料

駐車場はマルヤガーデンズパーキング（3階連絡通路直結）、丸屋第一駐車場、丸屋第三駐車場をご利用ください。

Day 1

1.27(日)

公開講座として実施しますが、申込み多数の場合は3回連続受講の希望者を優先します。

Day 2

アサーティブ・トレーニング ～“わたし”を“わたし”の真ん中に～

2.3(日)

会場

マルヤガーデンズ5階アートギャラリー

時間

10:30～15:30
(12:30～13:30休憩)

私たち女性は、生活や仕事のあらゆる場面において、自分よりも他者の欲求を優先しがちな日々を繰り返す中で“私がわたしである”ということに無自覚になりがちです。自分の気持ちに正直に向き合い、誠実に言葉にすることは、相手との対等な人間関係を築く上でとても大切です。

2日目は、自分も他者も大切にできる“わたし”になるためのアサーティブ・コミュニケーションについて学びます。

アサーティブネストレーナー：高崎 恵さん

Day 3

Her Story Library ～彼女の物語を読み“わたし”の人生をデザインする～

2.17(日)

会場

マルヤガーデンズ5階アートギャラリー

時間

13:30～16:00

「働く」ことを「私と社会の関係」という視点から振り返った鹿児島に暮らす女性たちの5つの“HerStory”を聴き、感じ考えたことを語り合いたいと思っています…。

Aさん

1981年結婚、現在36歳の長女を筆頭に4人の子あり。1988年長男・次男の保育園入園のため引っ越し。親の会を通して子育ては「親が自分を育てること」であると気づき学び始める。1998年、夫の熱帯果樹栽培転職に伴い山川町に引越し、その手伝いをしつつ、山川町臨時職員に。ふとした縁で、教育委員に就き4年間活動する中で、女性の社会的な立場と家族のありかたの關係に気づく。これまでの気づきや学びを経て、2008年より鹿児島市男女共同参画センター相談員。DVを始め、女性の悩み全般を聴き、社会的な視点で一緒に考えている。県や市の男女共同参画関連講座で出会ったメンバーと自主グループを立ち上げ男女共同参画を進める市推進懇話会などにかかりながら、2017年には子ども食堂もはじめ活動中。3年前から調停委員をつとめる60代。

Bさん

12年間の専業主婦生活を経て働きたいという思いを胸に就活するも「12年間のブランクがあるんですね…」と、なかなか正規雇用は難しい。ただ、子育て中も地域やPTA等、社会との関わりの中で様々な経験を積んできたと思っている。男女共同参画の学びとの出会いにより、女性は、妻は、母はこうあるべき…という刷り込みにより生きていたことに気づく。そしていま、自分より他者を優先していた私から、立ち止まり、私自身はどう思うのか、どう在りたいのか?と自問自答する日々。現在は、有期の仕事や、短期のパートで働いている40代。

Cさん

就職した頃の頃、「女性なのだから愛想よく」など何かと時代錯誤な職場での色々なことに疑問を持ちながらも、「合わせなきゃいけないの?」と悶々としていた。そんなとき、「みんなに好かれようと無理する必要はないよ。」と上司から言われ、その後は結構伸び伸びと20年勤めてきた。それでも、波風立てるなという空気で息苦しくなっていく職場に見切りをつけて3年前に退職。諸事情があって今は働くことと距離を置いているが、「どう生きたいか」と「働くこと」は常に頭をよぎる40代。

Dさん

学生時代に知り合った夫との結婚のため卒業後、生まれ育った東京から鹿児島へ。まず、街が真っ暗なことに驚く等、カルチャーショックを多々受けながら、子育てと仕事を両立するための働き方として非正規・有期雇用で働くことを選択。子育てが終了したことを機に12年前から正規雇用で働きはじめ現在は管理職。そろそろ定年を意識し始めた50代。

Eさん

短大卒業後地元の企業に就職。結婚を理由に上司から配置換えを言い渡され、夫は何も変わらないのに…と疑問を持ち一度は、辞めることを決意。しかし、仲間からの言葉に支えられ勤続15年、庶務・営業を経験し、その中で、やりたいと思える仕事に出会い、もっと深くやってみたいとの思いから単身福岡へ。商業施設の立ち上げに携わる。8年間勤務後、鹿児島に戻り、アルバイトから入った会社で現在は正規雇用、部下を持つ立場になった40代。

フリガナ			性別		
お名前			年代	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	
連絡先	住所	〒			
	電話				
	FAX				
	Eメール				
参加希望	<input type="checkbox"/> 3回連続受講 <input type="checkbox"/> 1月27日公開講座のみ受講				
託児 生後6ヶ月から 小学2年生まで 託児は会場周辺 の託児施設を予 定しています ※要予約	お子様 について	フリガナ		性別	年齢(1/27現在)
		お名前			歳 ヶ月 (生年月日)
		フリガナ		性別	年齢(1/27現在)
		お名前			歳 ヶ月 (生年月日)
参加希望理由					

※個人情報、本講座の連絡及び男女共同参画、マルヤガーデンズアカデミーに関する情報提供以外には使用致しません。

申込み先

● 鹿児島県男女共同参画センター
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
TEL 099-221-6603
FAX 099-221-6640
E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

● マルヤガーデンズ オペレーションセンター
TEL 099-813-8108

申込み方法

● 鹿児島県男女共同参画センター

① 申込み用紙にてメール・FAXで申し込む(24時間受付)
② お電話または直接男女共同参画センターで申し込む
(受付時間9時~17時 / 月曜休館 ※祝日の場合は翌日)

● マルヤガーデンズ

③ お電話または直接マルヤガーデンズ1階インフォメーションで申し込む (受付時間10時~20時)